

2022年12月期 決算説明資料

 **東亞合成株式会社**

2023年2月17日

1. 2022年12月期業績 P.2～
2. 2023年12月期業績予想 P.11～
3. 中期経営計画 P.24～
4. 参考資料 P.35～

2022年12月期業績

		2021年	2022年	増減	増減率
売上高	(百万円)	156,313	160,825 (168,765)	4,511 (12,451)	2.9% (8.0%)
営業利益	(百万円)	17,676	14,382 (14,477)	▲3,293 (▲3,199)	▲18.6% (▲18.1%)
営業利益率		11.3%	8.9% (8.6%)	▲2.4P (▲2.7P)	—
経常利益	(百万円)	18,983	16,446	▲2,537	▲13.4%
親会社株主に帰属する当期 (または四半期)純利益	(百万円)	13,771	12,494	▲1,277	▲9.3%
1株当たり当期純利益	(円)	108.14	101.31	▲6.83	—
配当(年間)	(円)	36.0	36.0	—	—

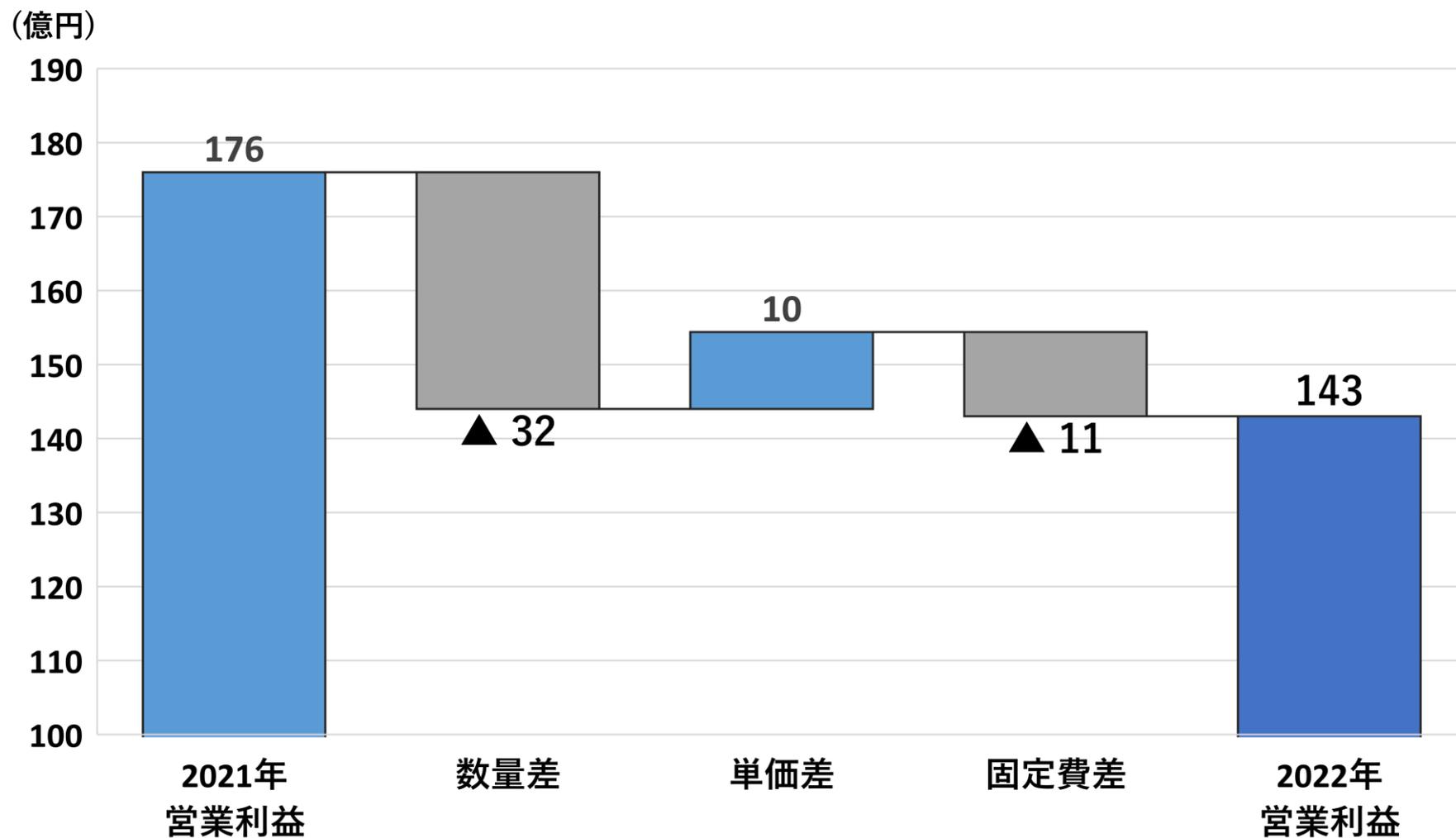
< 参 考 >

為替レート (期中平均)	(円/USD)	108.99	129.67
ナフサ価格 (期中平均)	(円 / ke)	50,175	76,150

※下段 () は収益認識会計基準等の適用前の数値を記載

※連結の範囲は変更なし (連結子会社 18社、持ち分法適用会社 2社)

營業利益增減分析



事業環境

- コロナ感染者数の増加やロシアのウクライナ侵攻により、サプライチェーンが混乱。
- 資源や食料の価格が上昇し、歴史的なインフレが進行。
- 日本では円安が進み、原材料を含めた輸入品価格が急騰。

2022年12月期決算概況

- 原燃料価格の高騰に対応し、利益確保のため価格改定を継続。
- 半導体関係向け製品を除き、自動車やスマートフォンの減産の影響で出荷数量は減少。
- 売上増、営業利益減。投資有価証券売却益を含め、当期純利益は124億円（▲13億円）。
- 自己株式の取得 約4百万株（2021年末発行済株式数の3.2%、約43億円）。約3百万株を消却。
- 期末配当金 18円を予定し年間 36円（配当性向35.5%）。総還元性向 69.7%。

連結業績（部門別）

（百万円）

売上高

	2021年	2022年	収益認識会計基準 適用前	数量差	単価差	増減額	
	A	B				B-A	収益認識会計基準 適用前 C-A
基幹化学品	70,312	74,225	76,471	▲4,687	8,600	3,913	6,159
ポリマー・オリゴマー	34,904	35,807	37,957	▲781	1,683	902	3,053
接着材料	11,336	11,134	11,595	▲689	486	▲202	259
高機能材料	9,779	10,466	10,363	215	471	687	584
樹脂加工製品	26,131	27,754	28,460	▲765	2,387	1,622	2,329
その他・調整額	3,847	1,436	3,914	▲2,411	0	▲2,411	67
合 計	156,313	160,825	168,765	▲9,119	13,630	4,511	12,452

※2022年から収益認識会計基準等を適用

（百万円）

営業利益

	2021年		2022年		増減
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	
基幹化学品	7,992	11.4%	6,691	9.0%	▲1,300
ポリマー・オリゴマー	5,276	15.1%	4,258	11.9%	▲1,018
接着材料	844	7.4%	▲255	—	▲1,100
高機能材料	2,449	25.1%	2,361	22.6%	▲87
樹脂加工製品	1,433	5.5%	1,759	6.3%	326
その他・調整額	▲319	—	▲431	—	▲111
合 計	17,676	11.3%	14,382	8.9%	▲3,293

※2022年から収益認識会計基準等を適用

連結損益計算書(営業外損益・特別損益)

(百万円)

営業外損益	2021年	2022年	増 減
受取利息・配当金	995	1,088	93
持分法による投資利益	145	128	▲17
為替差益	50	753	703
固定資産賃貸料	245	182	▲63
雑収入	263	334	70
支払利息	▲94	▲100	▲6
遊休設備費	▲33	▲25	8
環境整備費	▲127	▲208	▲81
雑支出	▲138	▲89	49
合 計	1,306	2,063	756

(百万円)

特別損益	2021年	2022年	増 減
投資有価証券売却益	1,706	2,554	848
補助金収入	134	283	148
固定資産処分損	▲722	▲559	163
投資有価証券評価損	▲3	▲91	▲88
減損損失	▲1,032	▲959	72
土壌汚染対策費用	▲264	▲358	▲94
合 計	▲181	868	1,050

(百万円)

持分法利益 (内訳)	2021年	2022年	差異
エルマーズ・トウアゴウエイ	139	136	▲3
中部液酸	6	▲7	▲14
合 計	145	128	▲17

為替レート

	2021年 12月末	2022年 6月末	2022年 12月末
円/USD	114.95	136.68	133.94
円/THB	3.44	3.85	3.87

連結貸借対照表

(百万円)

	2021年 12月末	2022年 12月末	増 減
流 動 資 産	145,168	138,985	▲6,183
現金・預金 ①	52,457	40,366	▲12,090
受取手形・売掛金	48,456	49,848	1,392
有価証券 ①	23,000	18,000	▲5,000
棚卸資産 ②	19,387	25,511	6,123
その他	1,913	5,309	3,396
貸倒引当金	▲46	▲50	▲4
固 定 資 産	113,787	126,150	12,362
有形固定資産 ③	78,193	90,774	12,580
無形固定資産	1,669	1,592	▲76
投資有価証券	28,722	28,472	▲250
その他固定資産	5,201	5,310	109
資 産 合 計	258,955	265,135	6,179

- ①自己株式取得および川崎工場の底地購入により減少
(有価証券は譲渡性預金)
- ②原料価格の上昇により増加
- ③設備投資および川崎工場の底地購入により増加

	2021年 12月末	2022年 12月末	増 減
負 債 合 計	52,343	54,328	1,985
支払手形・買掛金	18,391	19,653	1,262
借入金	11,207	11,065	▲142
未払法人税等	3,728	2,176	▲1,552
その他負債合計	19,015	21,432	2,417

	2021年 12月末	2022年 12月末	増 減
純 資 産 合 計	206,612	210,807	4,194
株主資本	189,396	193,053	3,657
その他の包括利益 累計額	12,367	12,915	548
非支配株主持分	4,848	4,837	▲10
負債・純資産合計	258,955	265,135	6,179

自己資本比率	77.9%	77.7%	▲0.2P
--------	-------	-------	-------

連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

		2021年	2022年	増減
営業キャッシュ・フロー	A	21,219	10,988	▲10,230
投資キャッシュ・フロー	B	▲10,239	▲3,579	6,659
フリー・キャッシュ・フロー	C=A+B	10,980	7,409	▲3,571
財務キャッシュ・フロー	D	▲8,644	▲9,464	▲819
現金及び現金同等物に係る 換算差額	E	368	390	22
現金及び現金同等物の増減額	F=C+D+E	2,703	▲1,664	▲4,368

現金及び現金同等物の期末残高	G	46,504	44,839	▲1,664
----------------	---	--------	--------	--------

連結会社概況（当期実績）

（百万円）

会社名	部門	持分 (%)	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
			21年	22年	21年	22年	21年	22年
1 東亜テクノガス	基幹化学品	100	4,625	3,517	557	76	398	107
2 トウゴウウエイ・シンガポール	↓	100	4,691	4,916	1,280	1,015	1,285	1,014
3 (MTエレクトロポネート)	↓	90	597	706	5	7	5	6
4 MTアクアポリマー	ポリマー・ポリマー	51	12,619	14,392	525	697	363	476
5 台湾東亜合成	↓	100	1,628	2,029	150	263	133	220
6 東昌化学	↓	51	2,011	2,113	94	48	44	32
7 東亜合成（張家港）新科技	↓	100	2,127	2,074	87	80	66	53
8 トウゴウウエイ・タイランド	↓	100	2,579	2,471	237	10	123	▲40
9 トウゴウウエイ・アメリカ	接着材料	100	1,594	1,920	▲41	▲129	36	▲150
10 (アロン包装)	↓	100	250	256	▲1	3	▲1	2
11 東亜合成香港	↓	100	324	276	27	16	25	17
12 東亜合成珠海	↓	100	580	675	▲12	▲52	▲15	▲42
13 アロン化成	樹脂加工	100	26,363	25,882	1,692	1,965	962	1,075
14 アロンケイ・タイランド	↓	100	218	469	▲275	▲224	▲282	▲234
15 東亜興業	その他	100	1,045	1,091	▲49	▲11	▲31	▲3
16 東亜ビジネスアソシエ	↓	100	2,445	2,104	79	37	47	25
17 TGコーポレーション	↓	100	12,651	1,326	412	371	286	259
18 (東亜物流)	↓	100	537	566	14	27	9	17
単純合計			76,884	66,783	4,781	4,199	3,453	2,834

※2021年は収益認識会計基準等の適用前、2022年は適用後の数値を記載

※（ ）の会社は、ほぼ全量が当社との取引

2023年12月期業績予想

事業環境

- 2023年の世界経済成長率は、鈍化する見込み。
- ウクライナ情勢、インフレおよび金利動向は不透明。
- 米中対立による、サプライチェーン・ストラクチャーの変化。

2023年の課題

- 2025年 中期経営計画スタート。
- 持続的な新製品開発を支える、積極的な研究開発投資の継続。
- 株主還元は新たなスタンスで実施。
中計期間に200億円の自己株式を取得（2023年は60億円、総還元性向は96.4%を見込む）

2023年12月期 連結業績予想

(百万円)

	2022年間実績 (A)	2023上期予想	2023下期予想	2023年間予想 (B)	増減 (B-A)
売上高	160,825	85,300	93,500	178,800	17,974
営業利益	14,382	6,300	7,700	14,000	▲382
営業利益率	8.9%	7.4%	8.2%	7.8%	▲1.1P
営業外損益	2,063	600	200	800	▲1,263
経常利益	16,446	6,900	7,900	14,800	▲1,646
特別損益	868	205	▲250	▲45	▲913
税前利益 (a)	17,314	7,105	7,650	14,755	▲2,559
法人税等及び同調整額 (b)	▲4,560	▲1,955	▲2,100	▲4,055	505
税負担率 (b)/(a)	26.3%	27.5%	27.5%	27.5%	1.1P
非支配株主に帰属する当期 (または四半期)純利益	▲260	▲50	▲50	▲100	160
親会社株主に帰属する当期 (または四半期)純利益	12,494	5,100	5,500	10,600	▲1,894
配当 (円)	36	18	18	36	0

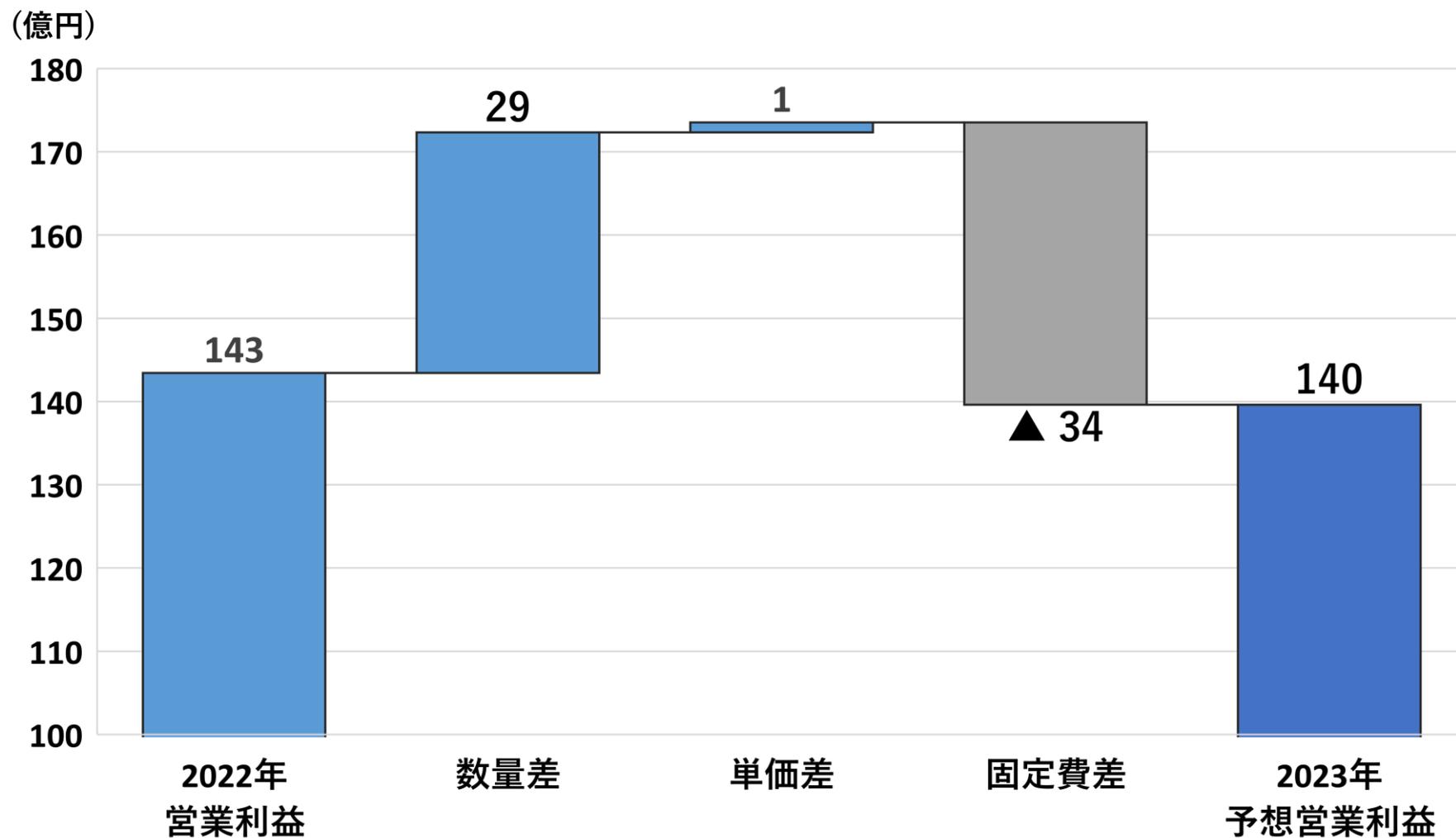
< 参 考 >

為替レート (期中平均) (円/USD)	129.67	—	—	130.00	—
ナフサ価格 (期中平均) (円/kℓ)	76,150	—	—	65,000	—

※ナフサℓ当たり1千円の変動で±300百万円。為替：1円/USDの円安で▲150百万円。

※2022年から収益認識会計基準等を適用しています。

予想営業利益増減分析



2023年12月期 連結業績予想（部門別）

（百万円）

売上高

	2022年 実績	2023年 予想	増減	増減要因
基幹化学品	73,929	84,800	10,871	[増収] アクリルモノマー、他イソダ、他イカ
ポリマー・オリゴマー	35,809	36,500	691	[増収] アクリルオリゴマー
接着材料	11,132	13,000	1,868	[増収] 家庭用、機能性接着剤
高機能材料	10,466	11,900	1,434	[増収] 高純度無機化学品、メィイカクア
樹脂加工製品	27,754	30,300	2,546	[増収] ライフサポート、管材、建材
その他・調整額	1,732	2,300	568	
合計	160,825	178,800	17,975	

※2022年は、2023年のセグメント変更を反映した値

（百万円）

営業利益

	2022年実績		2023年予想		増減	増減要因
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率		
基幹化学品	6,807	9.2%	6,800	8.0%	▲7	[前年並み] ▲アクリルモノマー、+他イソダ
ポリマー・オリゴマー	4,209	11.8%	3,700	10.1%	▲509	[減益] ポリマー
接着材料	▲207	-	▲200	-	7	[前年並み] 広告宣伝等固定費増
高機能材料	2,361	22.6%	2,500	21.0%	139	[増益] 高純度無機化学品、メィイカクア
樹脂加工製品	1,759	6.3%	1,800	5.9%	41	[増益] ライフサポート
その他・調整額	▲547	-	▲600	-	▲53	
合計	14,382	8.9%	14,000	7.8%	▲382	

※2022年は、2023年のセグメント変更を反映した値

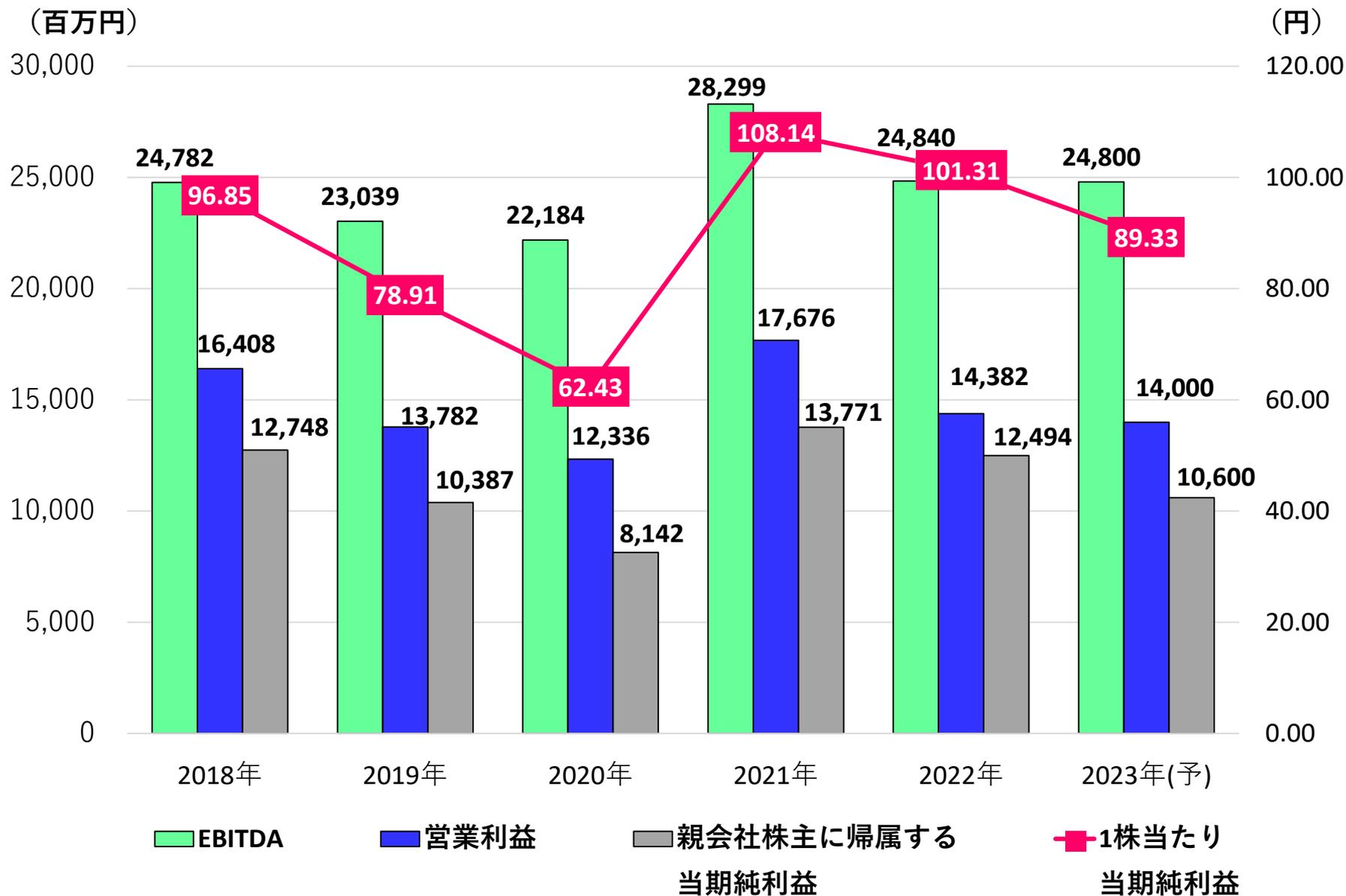
連結会社概況（2023年予想）

（百万円）

会社名	部門	持分 (%)	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
			22年	23年予想	22年	23年予想	22年	23年予想
1 東亞テクノガス	基幹化学品	100	3,517	4,298	76	278	107	204
2 トウゴウウエイ・シンガポール	↓	100	4,916	4,776	1,015	11	1,014	11
3 (MTエレクトロポネート)	↓	90	706	783	7	9	6	9
4 MTアクアポリマー	ポリマー・ポリマー	90	14,392	14,383	697	437	476	300
5 台湾東亞合成	↓	100	2,029	2,326	263	254	220	204
6 東昌化学	↓	51	2,113	2,358	48	111	32	92
7 東亞合成（張家港）新科技	↓	100	2,074	2,377	80	120	53	90
8 トウゴウウエイ・タイランド	↓	100	2,471	3,388	10	217	▲ 40	132
9 トウゴウウエイ・アメリカ	接着材料	100	1,920	2,515	▲ 129	0	▲ 150	95
10 (アロン包装)	↓	100	256	270	3	5	2	5
11 東亞合成香港	↓	100	276	346	16	20	17	19
12 東亞合成珠海	↓	100	675	1,034	▲ 52	▲ 311	▲ 42	▲ 315
13 アロン化成	樹脂加工	100	25,882	28,419	1,965	1,967	1,075	1,239
14 アロンケイ・タイランド	↓	100	469	822	▲ 224	▲ 199	▲ 234	▲ 217
15 東亞興業	その他	100	1,091	1,130	▲ 11	43	▲ 3	44
16 東亞ビジネスアソシエ	↓	100	2,104	2,133	37	33	25	23
17 TGコーポレーション	↓	100	1,326	1,559	371	483	259	337
18 (東亞物流)	↓	100	566	553	27	9	17	6
単純合計			66,783	73,470	4,199	3,487	2,834	2,278

※（ ）の会社は、ほぼ全量が当社との取引

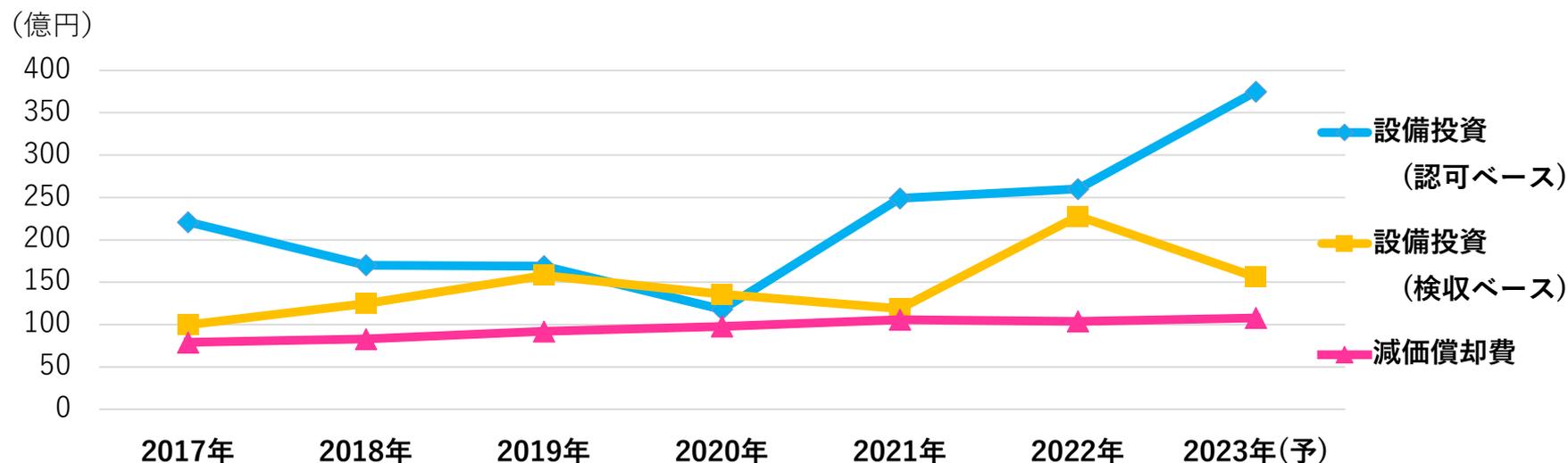
連結業績推移



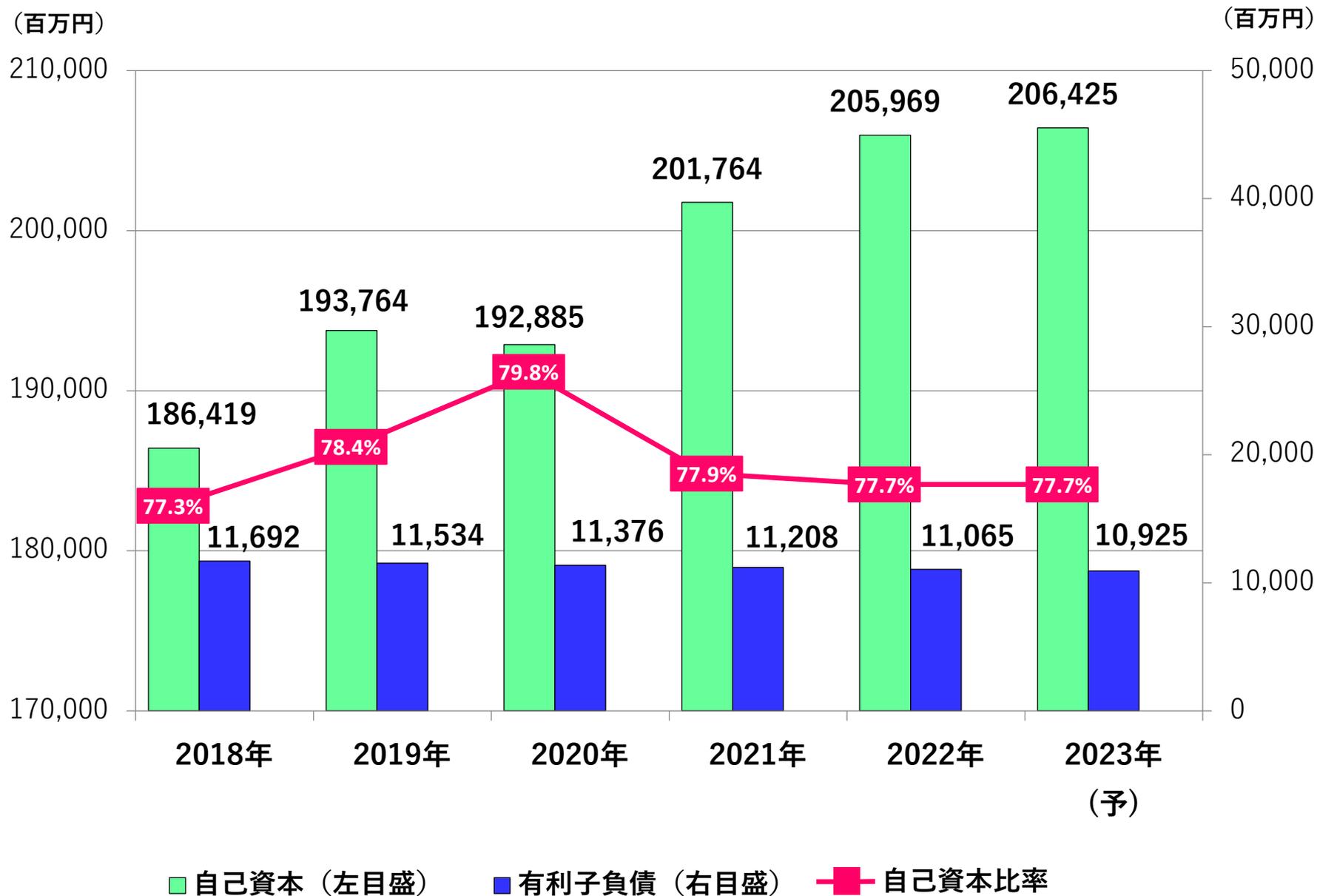
連結経営参考数値

(億円)

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年(予)
設備投資 (検収ベース)	125	158	136	119	228	156
設備投資 (認可ベース)	170	169	118	249	260	375
減価償却費	83	92	98	106	104	108
試験研究費	36	37	40	43	47	54
海外売上高	245	226	221	290	310	342
海外売上高比率(%)	16.4	15.6	16.6	18.6	19.3	19.1
有利子負債	116	115	113	112	110	109



連結経営参考数値の推移



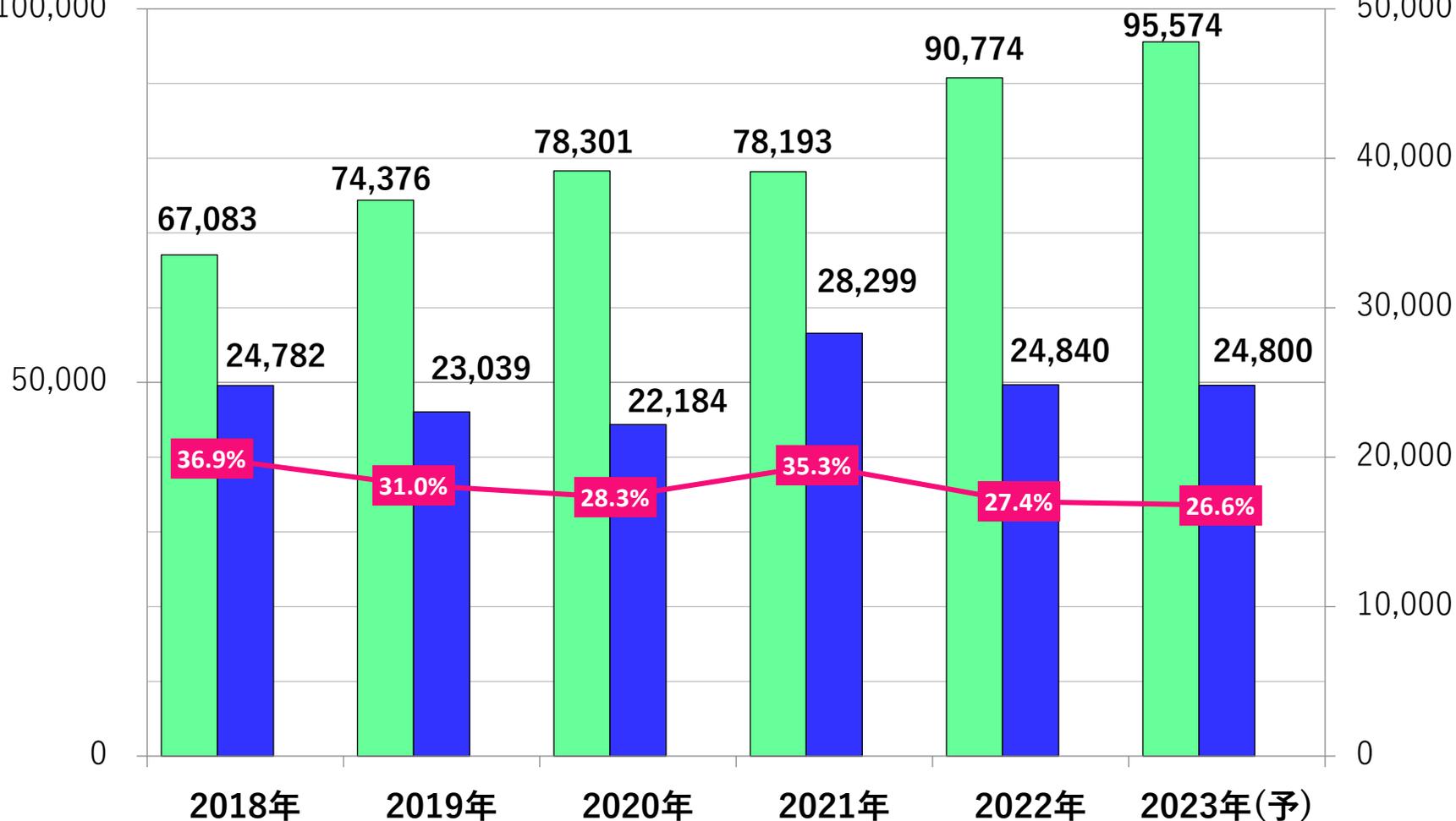
EBITDA/有形固定資産比率の推移

(百万円)

100,000

(百万円)

50,000

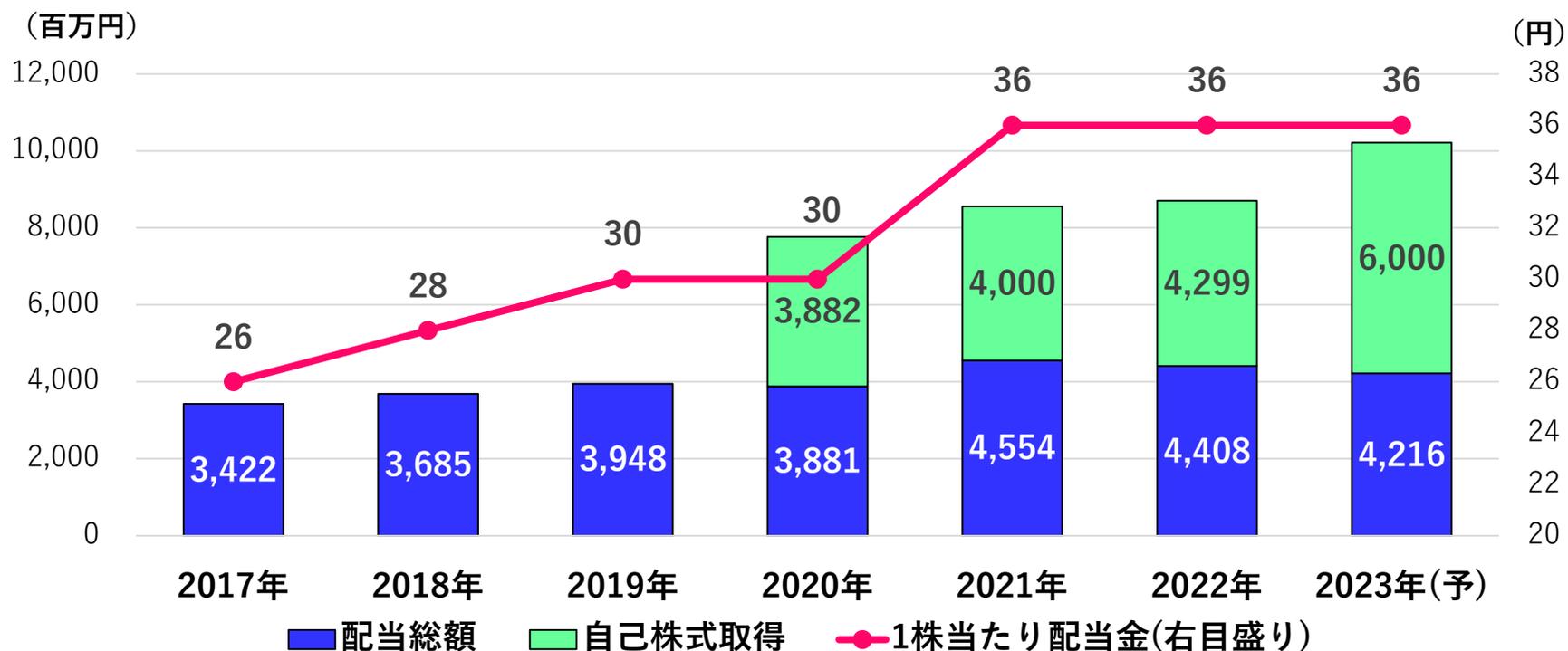
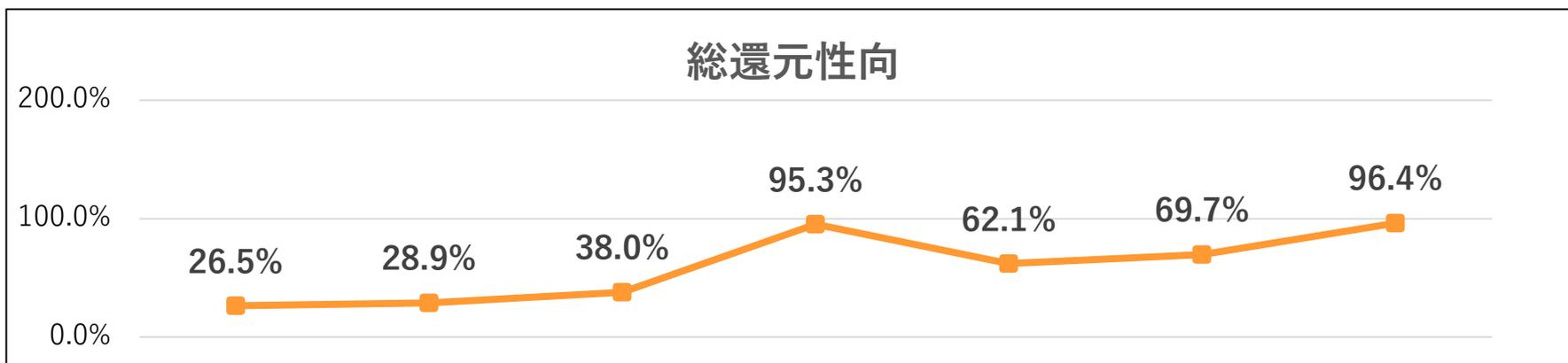


■ 有形固定資産(左目盛)

■ EBITDA(右目盛)

■ EBITDA/有形固定資産比率

総還元性向



E
(環境)

S
(社会)

2019年6月	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 提言へ賛同
2021年8月	内閣府・文部科学省・経団連「理工チャレンジ (リコチャレ)」イベント実施
2021年12月	<p>「2050年カーボンニュートラル (実質ゼロ)」目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2030年に2013年比50%削減 (215千トン) ・2050年にカーボンニュートラル (実質ゼロ) <p>①着手項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイオマスガス化発電導入に関する検討を開始 ・横浜市ごみ焼却場からのカーボンニュートラル蒸気活用に関する検討を開始 ・小水力発電導入に関する調査検討を開始 <p>②今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所における太陽光発電の設置可能エリア、規模の調査 ・水素利活用に関する施策を検討
2022年3月	健康経営優良法人2022「ホワイト500」に認定 (4年連続)
2022年3月	横浜市と「ごみ焼却熱有効利用実現可能性調査に関する覚書」を締結。共同で調査を開始
2022年4月	「東亜合成水素ステーション徳島」開所
2022年7月	アロンアルファ発売50周年企画「夏休み工作教室」イベント実施
2022年10月	「東亜合成グループ人権方針」「東亜合成グループサステナブル調達ガイドライン」を策定
2022年10月	GXリーグに賛同
2022年12月	内閣府、中小企業庁が推進する「パートナーシップ構築宣言」に賛同
2022年12月	「子供の未来応援基金」「一般財団法人あしなが育英会」寄付 (2021年から継続)
2023年1月	「従業員向け株式報酬制度」の導入

G (ガバナンス)

2019年3月	買収防衛策の廃止
2019年3月	女性取締役を初めて選任
2020年3月	取締役を対象に譲渡制限付株式報酬制度を導入
2021年10月	<p>「東亜合成グループ コーポレートガバナンス基本方針」改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下のとおり、株主還元の向上を図る 連結配当性向 30%程度 連結総還元性向 50%程度を目途 ・政策保有株式の貸借対照表への計上額が連結純資産の 10%程度となることを目指す 2021年12月末現在 : 12.6% (保有株残高26,009百万円) (2021年売却実績 19銘柄、売却価額2,910百万円) ・英語開示の推進 決算短信の全文開示(2021年12月期～)
2022年3月	社外取締役を初めて過半数とする(社内6名、社外7名)
2022年4月	東京証券取引所「プライム市場」への移行
2022年8月	<p>英語開示の推進 コーポレート・ガバナンス報告書の全文開示</p>
2022年12月	<p>政策保有株式の貸借対照表への計上額 2022年12月末現在 : 12.0% (保有株残高25,219百万円) (2022年売却実績 9 銘柄、売却価額3,054百万円(貸借対照表上の減少額2,066百万円))</p>

スポーツ振興への取組み



私たちは卓球「Tリーグ」を応援しています。



私たちは **IWAKI FC** を応援しています。

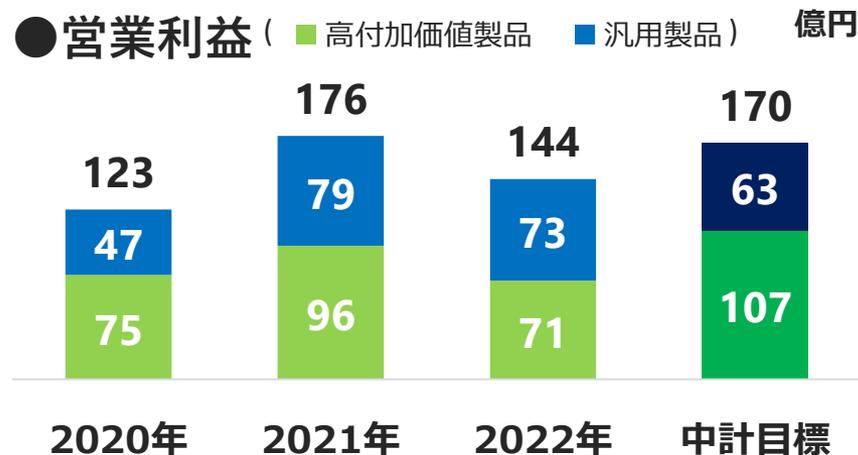
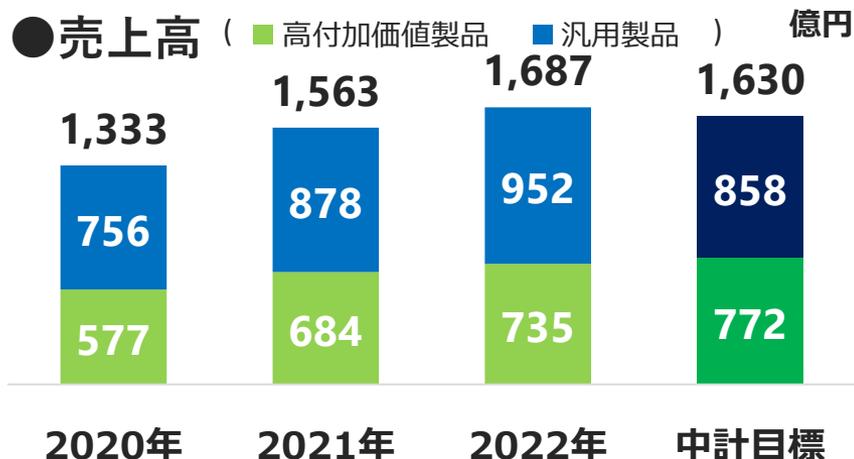
中期経営計画

- ・ 中期経営計画（2020-2022年）振返り
- ・ 中期経営計画（2023-2025年）について

基本方針

- (1) 高付加価値製品事業の拡大
- (2) 将来を支える「第4の柱」事業を含む新ビジネスユニットの創出
- (3) 基盤事業の強靱化

積極的な設備投資や新事業創出に向けた取組みにより、営業利益等の中計数値目標は2021年には超えたものの、最終年の2022年は景気減速の影響等により営業利益は未達。



※グラフは収益認識会計基準等適用前の売上高、営業利益

前中計（2020-2022年）数値目標振り返り

	2022年目標	2022年実績
売上高*	1,630億円	1,687億円
営業利益 [営業利益率]*	170億円[10.4%]	144億円[8.6%]
EBITDA* (利払い前、税引前、減価償却前利益)	270億円	249億円
高付加価値製品比率 (売上高)*	47%	44%
設備投資額 (中計期間累計、認可ベース)	440億円	627億円
海外売上高 [海外売上高比率]*	325億円[20%]	314億円[19%]
EPS (1株当たり純利益)	106円	101円
ROA (総資産経常利益率)	7.0%	6.3%

* 収益認識会計基準等適用前の数値

投資	高付加価値製品の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高純度液化塩化水素増強 ・ LIB用ポリマー増強 ・ 機能性接着剤増強 ・ 凝集剤の販売事業の承継
	研究開発力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高岡創造ラボ開所 ・ R & Dセンター第2 技術開発ラボ開所
	サステナブルな社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東亜合成水素ステーション徳島開所
研究開発	新事業創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ DDSに適するヌクレオラロンを開発 ・ セルロースナノファイバー事業化
海外展開	中国	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般用瞬間接着剤のEコマース開始 ・ 東亜合成(張家港)新科技の完全子会社化
	タイ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業キャッシュフローの黒字化継続
	米国	<ul style="list-style-type: none"> ・ テープ、光瞬間接着剤などEコマース開始
資本政策	配当性向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 30%以上の安定配当継続
	自己株式取得	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2020-2022年累計で122億円取得

Leap Forward to the Next 2025

前中計で一定の成果のあった**研究開発力の強化**や**高付加価値事業の拡大**による当社グループの成長を加速

(研究開発力の強化)

- ・ 首都圏に研究拠点を設置するなど研究開発力の一層の強化
- ・ ヌクレオロン、セルロースナノファイバーなどの事業化促進

(高付加価値事業の拡大)

- ・ ポリマー・オリゴマー、接着材料、高機能材料事業を中心とした高付加価値製品への投資の継続
- ・ 前中計までの設備投資の確実な収益化

●研究開発費

億円

前中計
20-22年

131

中計
23-25年

160

●設備投資額

億円

前中計
20-22年
(検収基準)

484

中計
23-25年

680

基本方針

- (1) 新製品・新技術の開発力強化
(研究開発費 2025年+20%(2022年比)、
高付加価値製品売上高比率 2025年 48%)
- (2) 海外売上高の拡大
(海外売上高 2025年+30%(2022年比))
- (3) 持続可能な社会の実現に貢献
(GHG排出削減 2025年▲35%(2013年比))

重要施策

- (1) 伸ばす事業に経営資源を積極投入し国内外での展開を加速
- (2) 研究開発力の強化
- (3) デジタルトランスフォーメーション(DX)推進を浸透・拡大
- (4) 先見性を持った人材の確保と育成
- (5) サステナブル経営の推進

事業に関わるマテリアリティ

	評価指標	2022年	2025年 (計画)
より存在感のある 企業の実現	売上高	1,608億円	1,830億円
	営業利益 [売上高営業利益率]	143億円 [8.9%]	200億円 [11.0%]
	EBITDA*	248億円	320億円
	設備投資 (累計額)	484億円 (20-22年)	680億円 (23-25年)
高付加価値製品の 拡大	高付加価値製品 売上高比率	44%	48%
	研究開発費(+20%)	47億円	56億円
海外シェアの拡大	海外売上高(+30%)	310億円	405億円

*利払い前、税引前、減価償却前利益

事業基盤に関わるマテリアリティ

	評価指標	2022年	2025年 (計画)
持続可能な社会の 実現に貢献	GHG排出削減 (2013年比)	▲24%	▲35%
多様な人材の 活躍推進と育成	女性管理職比率	3.4%	5.0%
経営指標	1株当たり純利益 (EPS)	101円	153円
	総資産経常利益率 (ROA)	6.3%	8.2%
	自己資本当期 純利益率(ROE)	6.1%	7.3%

2025年売上高・営業利益

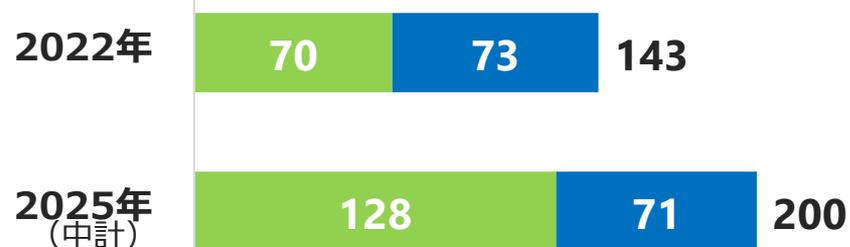
(単位：億円)	売上高		営業利益	
	2022年※	2025年	2022年※	2025年
基幹化学品	739	770	68	75
ポリマー・オリゴマー	358	430	42	65
接着材料	111	150	▲ 2	10
高機能材料	104	150	23	30
樹脂加工	277	310	17	30
その他	17	20	▲ 5	▲ 10
合計	1,608	1,830	143	200

※2022年は、2023年に予定しているセグメント変更を反映した値

●売上高 (■ 高付加価値製品 ■ 汎用製品) 億円



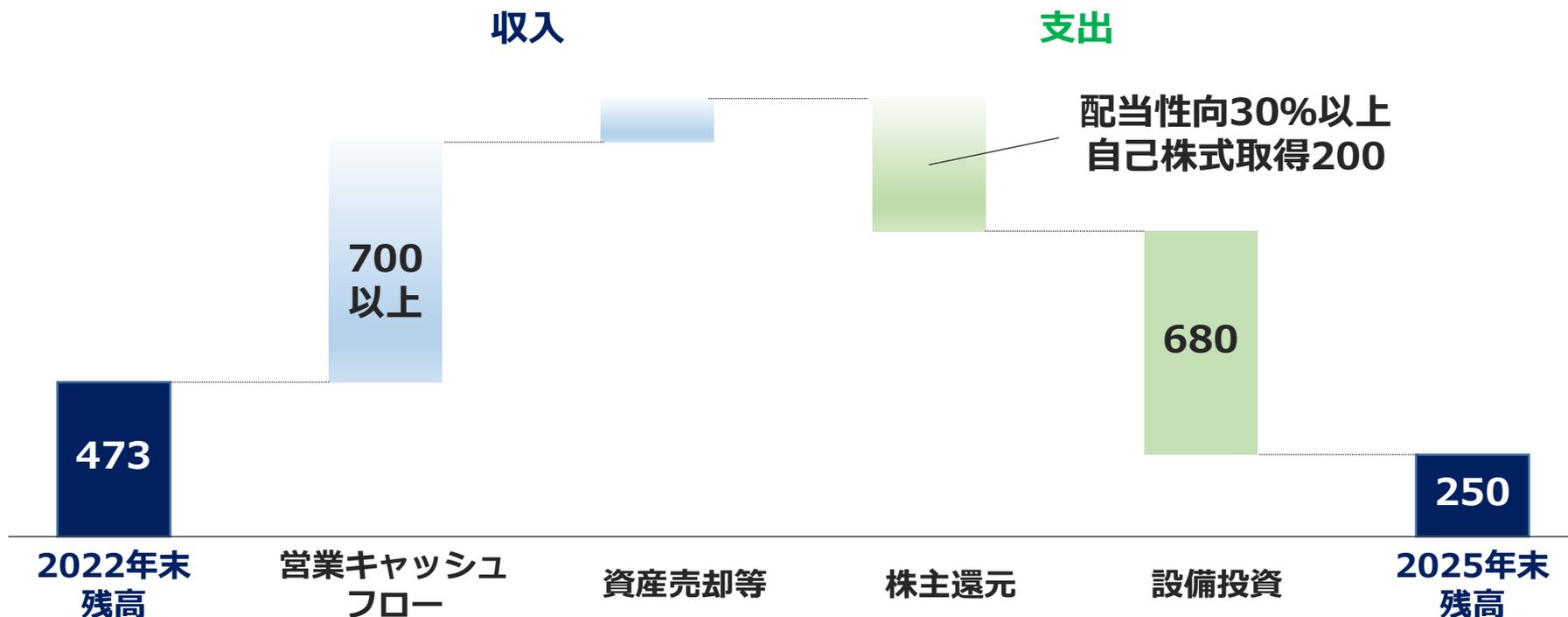
●営業利益 (■ 高付加価値製品 ■ 汎用製品) 億円



	アクションプラン	目標
投資	<ul style="list-style-type: none"> 高付加価値製品の製造設備増強 研究設備の拡充 物流施設等のインフラ整備 サステナビリティ関連 	2023年から2025年までの 累計投資額 680億円
研究開発	<ul style="list-style-type: none"> 首都圏に研究拠点を設置 スタートアップ企業との協働 	研究開発費増加額 +20% (2022年比)
海外	<ul style="list-style-type: none"> 電池や半導体分野向けに米国や中国、瞬間接着剤の東南アジア展開など海外の事業体制拡充 	海外売上高増加額 +30% (2022年比)
DX	<ul style="list-style-type: none"> 業務革新、人材育成による競争力強化 	企業体質の変革
資本政策	<ul style="list-style-type: none"> 投下資本利益率(ROIC)の早期導入 配当性向30%を目途とした安定配当 新中計期間で200億円程度の自己株式取得 	2025年 自己資本 当期純利益率 (ROE) 7.3%

● ネットキャッシュ残高推移(億円)

※ ネットキャッシュ残高 = 現預金等 - 有利子負債



- ・ 国内外での事業展開を加速させるための**積極的な設備投資**、**株主還元**などに支出
- ・ ネットキャッシュ残高は2022年末の473億円から2025年末に250億円程度となる見込

參考資料

基幹化学品事業	前年同期比		増減理由
	22年4Q (会計期間)	22年1Q-4Q (累計期間)	
無機化学品	119%	113%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 販売数量減少 ・ 原燃料価格上昇に応じた販売価格改定
アクリルモノマー	103%	124%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 販売数量減少 ・ 原燃料価格上昇に応じた価格改定
工業用ガス	85%	81%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原燃料価格上昇に応じた価格改定 ・ 販売数量減少で吸収しきれず

※当年度の売上高は収益認識会計基準等を適用

サブセグメント対前年売上高(ポリマー・オリゴマー事業)

ポリマー・オリゴマー事業	前年同期比		増減理由
	22年4Q (会計期間)	22年1Q-4Q (累計期間)	
ポリマー	85%	93%	・自動車関連向け製品の販売数量減少
オリゴマー	99%	100%	・ディスプレイ関連向けの販売数量減少 ・売上高は円安の影響で前年並み
凝集剤	97%	114%	・販売数量増加 ・原燃料価格上昇に応じた販売価格改定

※当年度の売上高は収益認識会計基準等を適用

サブセグメント対前年売上高(接着材料事業)

接着材料事業	前年同期比		増減理由
	22年4Q (会計期間)	22年1Q-4Q (累計期間)	
瞬間接着剤	101%	104%	<ul style="list-style-type: none"> ・販売数量減少 ・円安の影響などで増収
機能性接着剤	96%	93%	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォン減産の影響で販売数量減少

※※当年度の売上高は収益認識会計基準等を適用

高機能材料事業	前年同期比		増減理由
	22年4Q (会計期間)	22年1Q-4Q (累計期間)	
無機機能材料	132%	110%	<ul style="list-style-type: none"> 電子部品向けイオン捕捉剤が販売数量減少 抗菌剤や消臭剤の販売数量増加で増収
高純度無機化学品	112%	105%	<ul style="list-style-type: none"> 半導体向け製品の販売数量増加

※当年度の売上高は収益認識会計基準等を適用

樹脂加工製品事業	前年同期比		増減理由
	22年4Q (会計期間)	22年1Q-4Q (累計期間)	
管工機材	99%	105%	・原燃料価格上昇に応じた販売価格改定
ライフサポート	104%	106%	・歩行車などの新製品が好調
エラストマー コンパウンド	127%	114%	・自動車向けおよび医療用向けの 販売数量増加

※当年度の売上高は収益認識会計基準等を適用



-
- 業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。
 - 本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。